

モバイルバッテリー事故を受け、MCPCが 「製造・品質管理」に着目した業界ガイドラインを策定 —MCPCが示すモバイルバッテリーの新たな視点—

スマートフォンやイヤホンとともに使われるモバイルバッテリー。外観や表示が似ている製品であっても、その安全性や品質は同じだと考えてよいのでしょうか。

本資料は、こうした疑問を出発点として、製品のスペックや表示だけでは見えにくい「製造・品質管理の在り方」という観点から、モバイルバッテリーの安全性・品質についてMCPCが業界として整理した考え方を紹介するものです。

【見た目が同じでも、安全性は同じとは限らない】

これまでモバイルバッテリー事故は、「製品の仕様」や「表示の問題」として語られることが少なくありませんでした。しかし実際には、製造工程での管理、部材・委託先の管理、事故発生時の対応体制など、“作られ方・管理のされ方”も安全性と無関係ではないと指摘されています。

【生産・供給環境をめぐる前提や課題】

モバイルバッテリーの多くは中国など海外で生産されており、各国政策の動向の変化が日本における供給環境に影響を与えることもあります。

こうした環境のもと、海外で流通前提や確認の枠組みが異なる製品が日本の市場に入ってくる可能性も含め、製品の背景はますます見えにくくなっています。

しかし、その製品が「どの市場を前提に、どのような管理体制で作られたものか」を消費者が外観や表示だけで判断することは困難です。

【MCPCが示すもう一つの考え方】

MCPCでは、製品スペックや表示に加え、製造工程管理、サプライヤー管理、アフターサービス体制といった視点を整理し、業界として共有可能なガイドラインとして取りまとめました。

【ガイドラインが重視するポイント（例）】

- ・ 製造工程における品質管理（工程管理・検査の考え方）
- ・ サプライヤー管理／トレーサビリティ（部材・委託先の管理）
- ・ 問い合わせ・アフターサービス体制（事故・不具合時の対応）

※本ガイドラインは、製品の性能や安全性そのものを評価・保証するものではありません。

【ガイドラインの考え方】

本ガイドラインは、業界としての考え方を整理し、策定・公表したものです。今後は、このガイドラインを踏まえ、取組内容の確認方法や市場での状況把握の在り方について、段階的に検討を進めます。

【この取組が目指していること】

- ・お客様にとって：製品選択の際に背景を考えるきっかけに
- ・事業者（モバイルバッテリーベンダー）にとって：取組内容を説明しやすくする
- ・業界全体として：品質管理の考え方を共有し、底上げにつなげる

※本資料は、ガイドライン策定の背景や考え方を説明するための補足資料です。

※個別製品の適否判断や市場評価を行うものではありません。

※詳細は、MCPC モバイルバッテリー安全性・品質ガイドラインをご参照ください。

MCPC では、本ガイドラインを通じて、モバイルバッテリーの安全性・品質について「どのように作られ、どのように管理されているか」という視点が業界・事業者・利用者の中で共有されることを目指しています。

【参考：外観からは見えない内部構造の例】

外見や表示が同じように見えても、内部構造や製造管理の違いにより、電極巻きずれなど内部状態に差が生じることがあり、そうした違いが事故リスクに影響する可能性があることを示す参考例

